

志をもち自ら学ぶ子どもを育てる

～小中連携による9年間を見通した子どもの育ちを支援～【柳井市 大島中学校区】

地域の概要

大島中学校区（旧大島町）は、古くから周防大島への玄関口であり交通の要衝として栄え、校区内は、明治維新の志士に大きな影響を与えた僧月性の誕生地としても有名です。地域は大島瀬戸に面し、豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。学校は純朴明朗な児童生徒が多く、保護者や地域は学校に大変協力的です。平成25年度から、校区内の3小学校が1つになり、小・中学校が連携し9年間を見通した教育を進めています。

人 口	3,206 人	
世 帯 数	1,525 世帯	
対 象 校 及 び 児 童 生 徒 数	大島中学校	67 人
	大島小学校	106 人

組織の内容

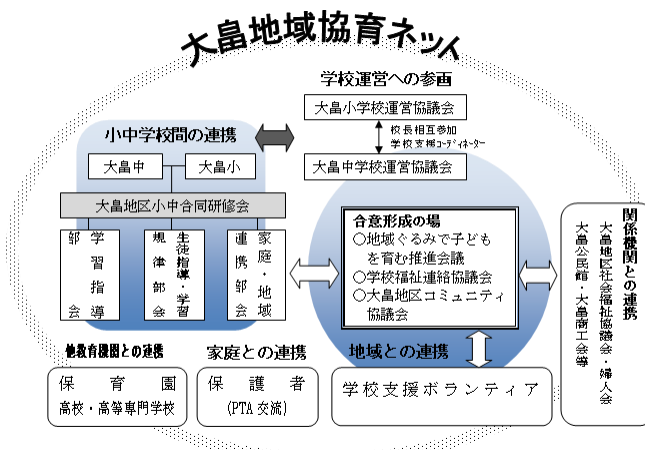
本校区ではこれまで自尊感情を基盤としたキャリア教育を推進し、学校・家庭・地域の連携を図ってきました。地域との連携では、学校と地域の双方向の関係づくりを基本スタンスに、様々な学校支援ボランティアと連携を図っています。

学校支援活動の推進組織として、その中核となるのが各校区に設置された学校運営協議会です。

ここでは学校運営に関して有識者、保護者、地域の代表者から承認を得るとともに、地域とともにある学校づくりについて様々な視点からご意見をいただいています。

また、運営委員には学校支援コーディネーターや、両校の校長も属しており、小・中学校間の取組を共有しています。

その他、既存の協議会の活性化を図りながら、地域をあげて子どもの育成にかかわるようになっていきます。



特色・重点的な取組

今年度は、「志をもち自ら学ぶ子ども」を育てるため、地域との連携をさらに進めるとともに、これまでの取組を充実させ小・中9年間を見通した連携が図られるよう、以下の取組を進めてきました。

1 小・中学校間連携の基盤づくり

- (1) 管理職・主任による連携の方向付けと学校運営協議会への相互参加
- (2) 「大島地区教職員合同研修会」
大島小・中学校の全教職員で構成し、育てたい子ども像や課題の共有と協働実践



合同研修会での発表風景

2 学校と地域連携の拡充

- (1) 学校支援ボランティア情報の共有
小・中相互の学校支援者情報を共有、スクールガードや剣舞指導等は連動して支援
- (2) 大島地区地域ぐるみで子どもを育てる推進会議の内容充実
学校、PTA、地域間で学校の取組や、地域の取組等を共通理解

3 児童生徒間の交流

- (1) 授業での交流 … 合同道徳、保健体育（着衣水泳）、小・中学生による「学び合い」を実施
- (2) その他の交流 … トイレ掃除など小・中合同で実施する地域行事での参加交流

主な活動の紹介

■活動事例1「大島地区教職員合同研修会」～大島の子どもを育てる～

大島小・中学校の教職員が一堂に会し、研修会を行っています。不祥事根絶の全体研修に続き、3つの部会に分かれて、大島の子どもをどう育てるか
を共通理解したのち、小・中学校が連携して取り組む内容について検討しま
した。今後も各部会で出前授業等や児童生徒の相互交流について実践を行っ
ていく予定です。

【部会】

学 習 指 導 部 : 授業交流、100マス計算・漢字などの基礎学習、家庭学習習慣づくり

生徒指導・学習規律部 : 集団行動、児童生徒情報の共有、学習規律の徹底

家庭・地域連携部 : 生活リズム、食育の推進、学校支援ボランティア間の連携



合同研修会部会での話し合い

■活動事例2「剣舞」～僧 月性の志に学ぶ～

大島遠崎地区には、幕末の僧、月性の剣舞が伝わっており、例年、中学2
年生は3学期の立志の集いと体育祭で披露しています。8月と1月に、地元
の剣舞保存会の方に指導をしていただきました。

統合された大島小学校においても、月性や剣舞の学習は、郷土を学ぶよい
機会として、地域の同じ指導者から大島小学校6年生が引き継ぐこととなり、
小・中学校9年間を通して立志の心を育てています。



月性の志を引き継ぐ剣舞の練習

■活動事例3「トイレ掃除に学ぶ」～キャリア教育の一環として～

中学校のキャリア教育の実践の1つであるトイレ掃除を、大島小学校と大
島駅、大島総合センターで行いました。大島小学校では小・中学生が協力し
てトイレ掃除にのぞみ、全員で一糸懸命きれいになりました。

小学生の目には、トイレがきれいになった達成感と素手で黙々とトイレを
磨く中学生の姿はとても頼もしく、強く印象に残ったようです。



中学生が見本となった掃除

■活動事例4「食べることは生きること」～食育の一環として～

「食べることは生きること」をテーマに、平素の食生活を振り返り、自分
の食の課題を考える授業を行いました。この授業には、大島小学校の6年生
も話し合いに加わり、小・中学生が一緒になって、食の大切さを考えていく機
会となりました。また、本年度から両校で「弁当の日」を実践しています。



小学生も加わった話し合い活動

成果と課題

従来から、大島小・中学校合同研修会を実施していましたが、部会の活動が活発になり具体的な研
修が行いやすくなりました。小・中学校の教職員の交流により小中連携の意識が高まっただけでなく、
何より児童生徒の交流は大きな教育効果があり、小・中学校間のつながりがスムーズになってしま
した。これにより、いわゆる中1ギャップの解消も期待できると考えています。

子どもの元気な声は、地域の活力の源であり、元気な子どもを育てることが学校の重要な使命であ
ると改めて感じています。

今後の取組

今後は校区に1小1中学校という利点を最大限に生かしていくため、以下の取組を充実させていく
予定です。

- (1) 小・中学校の学力検査等の分析や「学び合い」による授業改善を行い学力向上を図ります。
- (2) 小中連携の実践の拡充～従来の出前授業にとどまらない柔軟な発想による連携を探ります。
- (3) キャリア教育の視点に立ち、小・中学校で自尊感情を呼び起こす場を意図的につくります。
- (4) 児童生徒間の交流の拡充を図り、特に中学生が模範を示す取組を充実させます。
- (5) 学校支援者、PTA間の交流促進と共通実践を図り、食育など小・中学校を通じて生きる力を育む取組を行います。